

活動重点日

9月21日(木) 子供と高齢者交通安全呼びかけの日、3up運動呼びかけの日

- ・反射材用品の着用を呼びかける。
- ・夕暮れ時における前照灯の早め点灯と夜間の上向きライト使用の励行を呼びかける。

9月25日(月) シートベルト・チャイルドシート着用徹底の日

- ・後部座席を含めた全ての座席におけるシートベルト・チャイルドシート着用徹底を呼びかける。
- ・高速バス等の乗車時において、全ての座席におけるシートベルト着用徹底を呼びかける。

9月26日(火) 歩行者への交通安全呼びかけの日

- ・通学路における幼児・児童や高齢者への安全な横断と歩行者に配慮した安全運転を呼びかける。

9月29日(金) 飲酒運転根絶の日

- ・家庭、地域、職場等で飲酒運転の根絶を呼びかける。

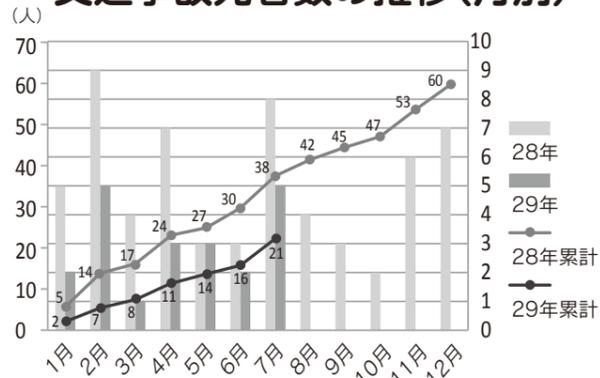
9月30日(土) 交通事故死ゼロを目指す日(全国指定日)、自転車安全利用の日

- ・県民の更なる意識向上を図り、県民一人一人が交通事故に注意して行動することにより、交通事故の発生を抑止する。

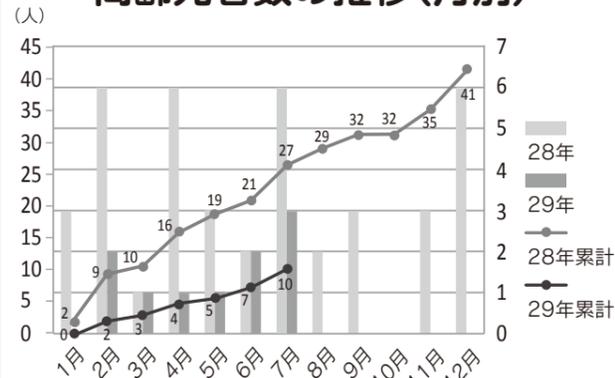
富山県内における交通死亡事故の特徴（7月末現在 20件21人）

- 65歳以上の高齢者が約5割を占める（10人）。
- 四輪車運転中が最も多く（9人）、次いで歩行中の死者（5人）、そのうち高齢者は1人。
- 車両単独の事故が5割を占める（10件）。

交通事故死者数の推移(月別)



高齢死者数の推移(月別)



交通安全に対する取組みについて

- ハートフル富山ダブルホイール作戦（富山県警察本部）
 - ・高齢者に優しく思いやりのある運転の実践
 - ・高齢者自身の交通事故に遭わない交通行動の実践
- 県内の全ての学校に対し、児童生徒の歩行時や自転車乗車時の交通法規とマナーの遵守等について指導の徹底を依頼（富山県教育委員会）



平成29年

秋の全国交通安全運動

富山県推進要綱

期 間 9月21日(木)～9月30日(土)

スローガン ゆずりあう 心でひろがる 無事故の輪



重点

- ① 子供と高齢者の安全な通行の確保と
高齢運転者の交通事故防止
- ② 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ③ 全ての座席のシートベルトと
チャイルドシートの正しい着用の徹底
- ④ 飲酒運転の根絶

富山県交通対策協議会

富山県・富山県警察・富山県教育委員会・市町村・(公財)富山県交通安全協会

運動の目的

本運動は、広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

重点 1

子供と高齢者の安全な通行の確保と 高齢運転者の交通事故防止

社会の宝である子供と、交通死者の多くを占める高齢者を交通事故から守るため、子供とその保護者及び高齢者の交通安全意識の高揚を図るとともに、子供や高齢者に対する保護意識の醸成を図ることで、交通事故を防止する。

- 通学路等における幼児・児童の安全の確保
- 安全に道路を通行することについて幼児・児童への教育の促進
- 加齢に伴う身体機能変化が交通行動に及ぼす影響を踏まえた安全教育と広報啓発
- 3up運動^{スリーアップ}*の推進による交通ルールとマナーの向上
- 運転免許証の自主返納制度と、返納者への支援措置等の周知による自主返納の促進
- 75歳以上の高齢運転者に対する臨時の検査や、講習制度導入等の改正道路交通法の周知徹底



* 3up運動とは(「マナーu p」「チェックu p」「ライトu p」)を推進することにより、運転者のマナーを向上させ、交通事故防止を図る運動

重点 2

夕暮れ時と夜間の歩行中・ 自転車乗用中の交通事故防止

日没時間の急激な早まりとともに、見通しの悪い時間帯と帰宅や買い物の時間帯が重なり、重大事故につながるおそれのある交通事故の危険性が高くなることから、夕暮れ時から夜間の交通事故防止意識をより一層高める。

- 自分の存在をアピールする反射材用品着用の促進
- 「自転車安全利用五則」や「とやま自転車5ハット」などを活用した信号遵守と一時停止、安全確認など交通ルールとマナーの周知徹底
- 自転車の傘差し、スマートフォン等使用、イヤホン使用等の危険性が高い運転に対する危険性の周知徹底
- 自動車運転者による夕暮れ時における前照灯の早め点灯の励行と、夜間の対向車や先行車がいなく時の上向きライト使用の励行
- 子供、高齢者などに対する思いやりのある運転の促進

～ 暗い道
上向きライトで
安心運転～



- ① 原則上向きライト走行
- ② こまめなライトの切替え
- ③ 早めのライト点灯

* 先行車、対向車がある場合や歩行者、自転車を発見した時は下向きライトに切り替えましょう。

運動の進め方

各推進機関・団体等が、相互に連携を図るとともに、それぞれの**家庭**、**地域**、**職場**、**学校**等において実情に応じた活動を推進し、県民をあげての運動となるよう努める。

重点 3

全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの 正しい着用の徹底

後部座席を含めた全ての座席でのシートベルトの着用を徹底し、交通事故発生時における被害の防止・軽減を図る。

- 全ての座席におけるシートベルトとチャイルドシートの着用義務の周知徹底
- 交通事故の被害軽減に寄与していることなど、着用の必要性・効果に関する理解の促進
- チャイルドシートの使用*と確実な取付け方法等、正しい使用方法の周知徹底
- 高速バス等の乗車時における全座席でのシートベルト着用徹底の指導・広報啓発強化

* チャイルドシートは、6歳未満の子供及び6歳以上であっても、シートベルトを適切に着用できない子供に使用



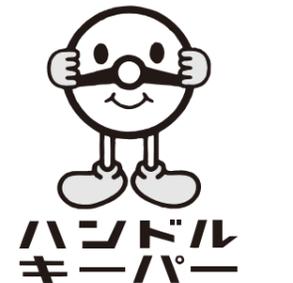
重点 4

飲酒運転の根絶

飲酒運転の悪質性・危険性、飲酒運転に起因する交通事故の悲惨さを訴えて規範意識の確立と運転者の交通安全意識の高揚を図り、飲酒運転を根絶する。

- 家庭、地域、職場等における飲酒運転を許さない環境づくりの促進
- 各種広報媒体の活用による飲酒運転をさせない広報啓発活動の推進
- 飲食店等における運転者への酒類提供禁止の徹底
- ハンドルキーパー^{*}運動の浸透と実践

* ハンドルキーパーとは、自動車仲間と飲食店などに行く場合に、お酒を飲まないで仲間を自宅まで送り届ける人



● 秋以降における交通事故の特徴

- ・ 日没までの時間が急激に早まり、重大事故につながるおそれのある交通事故が増加する傾向にある。
- ・ 歩行中・自転車乗用中の事故が増加(自宅の付近、暗く見通しの悪い場所での横断中の事故が増加)

● 交通事故を防ぐための対策

- ・ 早めにライトを点灯して自分の存在をアピールするとともに、適切な上向きライトの活用により歩行者等の早期発見に努めましょう。
- ・ 夜間外出する際は、反射材を活用することや明るめの服を着ることを心掛けましょう。
- ・ 道路横断時は左右の安全確認を行うとともに、横断歩道のある場所を渡るようにしましょう。